

星空 だより 普及版 2024年10月



ゴルゴン・メデューサ

今月の投映

今夜の星空+テーマ番組「久喜プラネタリウム総選挙!2024 ほしぞら妖怪探検?!」

17日(日)13:30 は一般投映です。「かいけつ!ぎもん・てんもん」ではありません

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「ペルセウス VS メデューサ」

投映日 一般向け 小学生向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

Table with 5 columns (Time slots) and 4 rows (Day types: 平日, 土曜日, 日曜日).

※予定変更が生じる場合があります。最新情報はホームページ、X(旧ツイッター)等をご確認ください

23日(土・祝)15:30に予定されていた勤労感謝の日特別投映「熟睡プラ寝タリウム」は、当日の駐車場混雑状況に配慮し、中止となりました。

がいけつ! ぎもん・てんもん 小学4・6年生が理科で習う内容を中心に、毎月わかりやすく星のお話をします。

観覧料 大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円

イベントの予定 県民の日特別投映「こども投映デー」 11月14日(木・県民の日) ①11:00~「さらわれたガニメデス」



※観覧料は通常の投映と同じです。

天体観望会 12月8日(日)17:30~19:00 (18:00まではプラネタリウムでの事前学習) 定員...136名(先着順) 観察する星...月、金星、土星、木星、土星食など



12月の投映内容(予定) 今夜の星空+テーマ番組「環っ!?!」

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「クリスマスのおほしさま」 15日(日)15:30 がいけつ!ぎもん・てんもん 「冬の星座を探そう!オリオン座を観察しよう!」(小4)

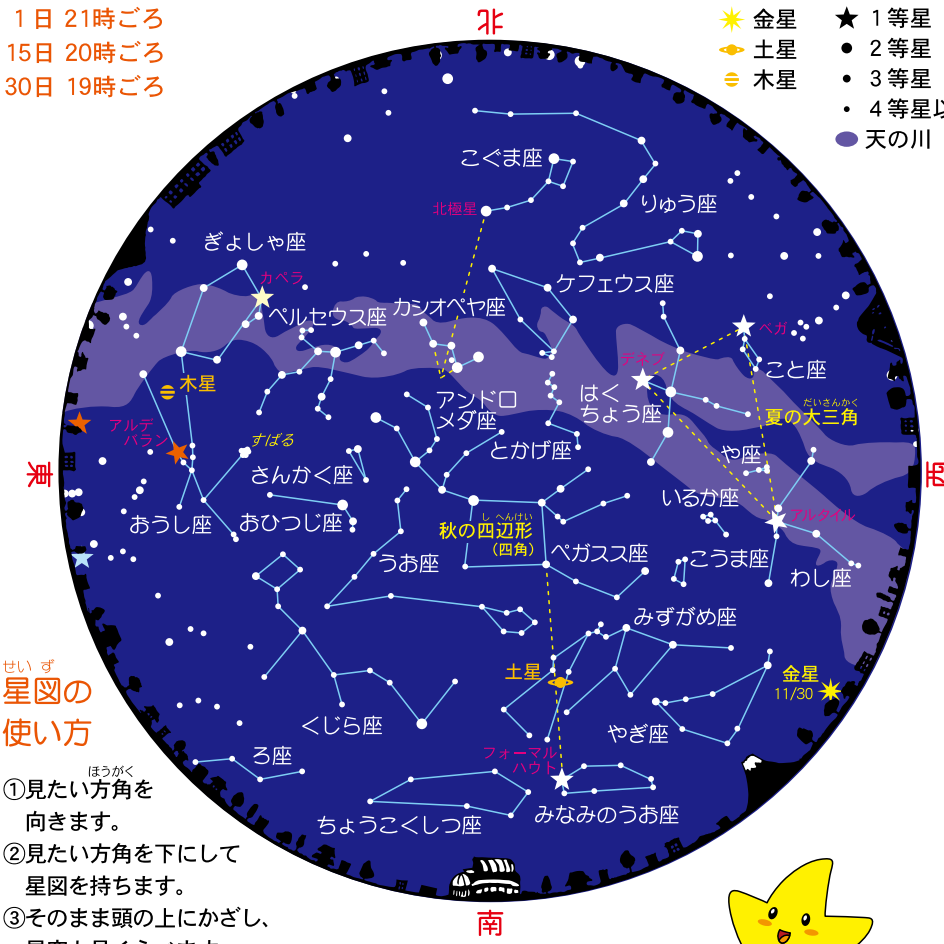
おしらせ 内容変更となる場合があります。最新情報はホームページで... アカウントをお持ちの方は『X(旧ツイッター)もご覧ください! @KUKI_bunka

久喜総合文化会館 〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140 TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

11月の星空

1日 21時ごろ
15日 20時ごろ
30日 19時ごろ

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 天の川
- ★ 金星
- 土星
- 木星



星図の使い方

- ① 見たい方向を向きます。
- ② 見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③ そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

16日は夕方の低空に水星が見えるかな…?

惑星

南西金星… 4等級。夕空に目立つ。
南土星… 1等級。12月8日に土星食。
東木星… 3等級。昇ったばかりだが明るく目立つ。12月8日に衝となる。

主な1等星

西ベガ [こと座]… やや低いが、明るく目立つ。たなばたの“おりひめぼし”。
西アルタイル [わし座]… 高さはベガと同じくらい。たなばたの“ひこぼし”。
西デネブ [はくちょう座]… かなり高い。名前の意味は“しっぽ”。
南フォーマルハウト [みなみのうお座]… 位置は低いが、図のように頭上高く昇った秋の四角形(四角)から探せる。
北東カペラ [ぎょしゃ座]… 冬の1等星。まだやや低いが見え目立つ。
東アルデバラン [おうし座]… まだ低い。



日の出

11月1日	6:03
15日	6:17
30日	6:32



日の入

11月1日	16:46
15日	16:34
30日	16:28

こよみ

- 11月1日 ● 新月
- 3日 文化の日
- 4日 振替休日
- 5日 月と金星が接近 (夕方南西の空)
- 7日 立冬
- 9日 ● 上弦
- 11日 月と土星が接近 (夕方南東～深夜南西の空)
- 14日 埼玉県民の日
- 16日 ● 満月 水星が東方最大離角 (夕方西の空で太陽から最も離れるのがかなり低い)
- 17～18日 しし座流星群
- 22日 小雪
- 23日 ● 下弦 勤労感謝の日

12月8日(日)土星食を見よう!



天体が別の天体の手前を横切り、その一部または全部を隠す天文現象を“食”といいます。代表的な例は日食です。特に皆既日食は、皆既中は辺りが暗くなり天地の様子が一変する上、見られる範囲が狭く地域が限定されるので大変注目されます(久喜では2035年9月に見られます)。日食のような派手さはないものの、月が恒星(星座の星)や惑星を隠す“星食”という天文現象もあります。今年8月10日(土)におとめ座の1等星スピカが月に隠される“スピカ食”がありました。

今年はさらに12月8日(日)、土星が月に隠される“土星食”が起こります。土星は1等級と明るく、隠れ始めは月の光っていない暗い側から潜入するので肉眼でも観察できるでしょう(左図)。また、スピカのような恒星は大変遠いため地球からは点にしか見えませんが、太陽系の惑星である土星は地球に近く、ある程度大きく見える(面積がある)ので、隠れ始めから隠れ終わりまで、出始めから出終わりまでそれぞれ1分以上かかります。望遠鏡ならこの様子をじっくり観察できます。プラネタリウムでは土星食に合わせて12月8日に天体観望会を行います。ぜひ土星食を見に来てください!(詳しくは裏面をご覧ください)